

# 広島市植物公園

## 見どころ案内

### シクラメン・ヘデリフォリウム (サクラソウ科)

花後の花茎がくるくと巻くので、ギリシャ語の円を意味するキクロスから名がつけました。蚊取り線香のように巻いた花茎も見ることができます。

### バラ園 (バラ科)

四季咲きのバラが咲いています。オールドローズなどの一季咲きの区画は、みごとに葉しかありません。奥の斜面の野生種の多くは実が色づき始めました。

**秋の洋ラン展-描かれた蘭-**  
10/19(土)~11/4(月)  
特別企画展で展示中の『蘭花譜』やボタニカルアートなどに描かれているランを集めました。蘭花譜展とあわせてお楽しみください。

### 特別企画展 蘭花譜展

9/14(土)~12月23日(月・祝)  
展示資料館1階展示室にて開催  
「蘭花譜」は、ランの収集家 加賀正太郎氏が人生をかけて監修・制作した104枚の植物図譜です。うち83枚が浮世絵の木版画の技法で印刷されました。一流の、蘭の収集家、栽培家、日本画家、木版の彫師、摺師が作りあげた幻のコレクションを前・中・後期に分けてすべて展示します。芸術的にも大変価値のあるカラー図譜です。

※11/21(木)まで中期 展示中!  
後期は11/23(土)から

### ハマギク (キク科)

花の進化園にはたくさんの野生菊が植えられています。ハマギクは本州の太平洋側、茨城県以北の海岸に分布する花が大きい野生菊です。美しい白い花をつけるので江戸時代にはすでに栽培されていたそうです

### ダルマギク (キク科)

これも海岸の岩の上に咲く野生菊です。西日本の日本海側、対馬海流に沿った地域に分布します。花はうす紫でハマギクほど大きくはありませんが、野生種の中では大きい方です。ピロードのような厚くて丸い葉がダルマをイメージさせます。

### キジョウロウホトギス (ユリ科)

紀伊半島に分布する上臈ホトギスの意味です。鐘形の黄色い花で、葉が茎を抱いているように見えます。

### キバナノツキヌキホトギス (ユリ科)

茎が葉を突きぬけているので名がつけました。上向きの黄色い花が斜面の奥の木の陰に咲いています。

### ツルタイワンホトギス (ユリ科)

タイワンホトギスの変種です。茎が細くてしなやかなので名がつけました。朝晩の寒さを感じられるようになってから、花びらの先の青みが増したようです。

